

## 埼玉県立加須げんきプラザ

### 「単元の学習過程を明示した簡易版」

○活動プログラム「人間関係づくりプログラム・野外炊事体験」

○第1学年 総合的な学習の時間 「体験活動を通じて、よりよい人間関係を築こう」

○単元の目標

様々な体験活動を通じて、生徒が互いに協働しながら「よりよい人間関係」を形成しようとするとともに、これまで各教科等で学んできた知識や技能、見方・考え方を総合的に働かせて、主体的に課題解決を図ることができる。

○学習過程と活動の流れ

学習過程	活動内容	時数	活動の場
【事前学習】 課題の設定	・これまでに学んだ知識を生かして、効果的な火付けの方法を想起させる。【理科】 ・グループ編成、野外炊事の役割分担を決定する。【総合】	1	行田市立忍中学校
【体験学習】 情報の収集	・「ビーイング」を行う。「よりよい人間関係を築くために、自分たちができること」について、グループ単位で用紙に書き出す。【総合】 ・「野外炊事体験」を行う。【理科】【総合】 ・「人間関係づくりプログラム」を体験する。【総合】 ・「ビーイング」で決めた目標が達成できたか振り返る。【総合】	6	行田市立忍中学校
【事後学習】 整理・分析 まとめ・表現	・体験活動を通じて学んだことを今後の生活に生かせるよう、関連する内容項目についての授業を行い、自らの生き方を改めて考える機会とする。【道徳】	1	行田市立忍中学校

○育成する資質・能力

【知識及び技能】

- ・よりよい人間関係を形成するために他者と協働して取り組むことの意義を理解できる。
- ・野外炊事体験における効果的な火付けの方法を身に付ける。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・集団内で協議して合意形成を図り、よりよい方向性を見出して課題解決を図ることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・他者の考えや意見を肯定的に捉え、尊重することで、よりよい人間関係を形成できる。